

町田通勤寮だより

NO 72

2019年 1月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045

東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

本年もよろしく申し上げます。

昨年は廣本肇前理事長の死去に伴う理事長の交代をはじめとして、法人にとっても大きな変化があった年でした。

早川新理事長のもと、前理事長の熱い「想い」を引き継いで、一步一步着実に課題に取り組んでいきたいと思えます。

11月の保護者会は急な中止となり、大変申し訳ありませんでした。昨年に引き続きスピーチフォーラムと日程が重なってしまいましたので、来年度については、日程の検討をしたいと思います。

「平成最後」という言葉があふれている中、皆さんは新年をどのようにお迎えになったでしょうか。私はいかと、これまでと大きな変化はなく、年末の家族スキー（私は数年前にアキレス腱の断裂をやって以降、滑らずに温泉三昧でしたが）から戻って「年越しそば」を食べずに寝てしまい、いつもより遅い

寝覚めで新年を迎えました。これまでと違うことといえば、元日のサッカー「天皇杯」決勝のテレビ観戦がなかったことぐらいです。（代わりに皇后杯を観ていましたが・・・）

さて、最近の利用者さんを見ていて気になることがあります。

それぞれが「辛い経験」をしてきたなかで、「自分を守る」為に身に付いてしまったことなのだろうとは思いますが、「自分より弱い者」や「劣っている」と判断した者」に対しての『見下した様な振舞い』『攻撃的な振舞い』や、「ズレなければいい」、「見つからなければいい」と言った『ウソ』や『無責任な行動』が多いことです。

職員との『信頼関係』の構築を基に、丁寧な関わりの中で改善されていくことが求められていると感じます。コミュニケーションに課題を抱えている利用者の方が増えてきている中で、職員も丁寧な支援に当たれるよう努力していきたいと思えます。

スピーチフォーラム

支援員 新井 政暁

昨年11月10日11日の2日間、群馬県伊香保で行われたスピーチフォーラムに通勤寮から7名の利用者さんが参加しました。

スピーチフォーラムには、他通勤寮利用者さんと交流を図ること、発表やデイスカッションを通して、利用者さんが自分たちの思いを伝え、確認し合える時間を過ごすことといった意味合いがあります。

今年度は日本有数の温泉地での開催ということもあり、発表などやるべきことをきちんとやったあと、各利用者さんはそれぞれ、露天風呂や温泉で日々の疲れを癒すことが出来ていたように思います。

初対面の方が大勢いる中で自分の気持ちを発表することはかなり緊張した

と思います。一方、温泉ではリラックスできたと思います。今回は伊香保でしたが、都内で開催されることもあります。それでも日常生活では体験できない空間でこういった経験をするのは、今後の長い人生に、何かしら良い意味で影響が出てくるのではないかと思います。それは例えば海外や日本各地を回って、さまざまな文化や知見を広めることと似ているかと思えます。

通勤寮での日々はもちろんとても大切にしてほしいと思っておりますが、利用者さんには時折こうやって非日常を体験することで、様々な価値観に触れたり、色々な経験を積んでいただけたらと感じております。



心をつなげる福祉マラソン大会

平成最後の第31回福祉マラソン大会が、昨年11月18日(日)に荒川河川敷で行われました。

この大会は、先日亡くなられた故廣本前理事長が発足され、現在まで受け継がれた行事です。数年前までは、皇居の外周を走っていましたが、事情により、現在の荒川河川敷で実施しています。

主任支援員 武智 里峰

今年は町田通勤寮から4名、同法人GHフクシアから4名、計8名が参加されました。

大会開催前には、自主的にトレーニングを重ねられ、堂々とスタートに立ち、全員無事に、達成感を満喫した表情でゴールしました。もっと練習しておけば良かった…、もっとスピード出せば良かった等々、感想は様々でしたが、楽しかったようです。

寒中、応援に駆けつけてくださったご家族に感謝申し上げます。

また、故廣本前理事長も、皆が元気に走っている姿を、微笑みながら見守ってくださいましたことかと思えます。

では、また来年…。

就労講座

支援員 小林 美樹

昨年11月20日に第2回就労講座を開催いたしました。

今回の講師は、町田通勤寮の寮長へお願いし、給与明細書の見方を教えて頂きました。社会人経験十何年の記入者も給与明細書をじっくりと見た事が無いので一緒に参加させていただきました。

多くの人が毎月いただく給与明細書の振り込み額の欄しか見ていないと思います。どのような内容であるかは理解されていないため今回は控除されている内容について詳しく説明していただきました。

最後の質疑応答の時間では、36協定に関する質問が出ました。今回の講座内容とは違いましたが、寮長に説明していただきました。でも36協定を知っている利用者さんが居ることに驚きました。

今回の講座では、初めて聞く言葉が多く少し難しかったかもしれませんが、また次回は同じ内容で項目を絞って細かく説明を行えばより一層の理解を得られると思います。

宿泊訓練

支援員 西岡 理智子

昨年11月25日26日、毎年恒例の宿泊訓練を行いました。9月末に予定していた大阪行きが台風のため中止となり、行き先を変え実施しました。

1日目はバスで通勤寮を出発し、日光東照宮へ向かいました。豪華なお膳の昼食を食べた後、ガイドの方の案内のもと境内を回りました。神厩舎の三猿の彫刻では「見ざる・言わざる・聞かざる」が有名ですが、他にもいくつもの彫刻が並んでおり、人の一生を表しているというお話はとても興味深く感じました。平成の大修理により色鮮やかになった陽明門や陽明門前のパワースポットなどに利用者の方々も興味を示されていました。

宿泊場所のホテル三日月に到着すると、それぞれスパや温泉でくつろぎました。夕食は豪華な食事をいただき、カラオケを楽しみました。



支援員 入江 就仁

2日目は鬼怒川温泉三日月を出発し、東武ワールドスクウェアと日光江戸村に向かいました。利用者さんも2日目の方を楽しみにしている方が多く、特

に日光江戸村は計画する前から「行きたい」という声が多かったほどです。

東武ワールドスクウェアは日本、ヨーロッパ、アメリカなど各エリアごとで各国を象徴する建築物や広場などのミニチュアが展示されており、全て回ることで世界1周旅行ができたような気分になれるテーマパークです。利用者さんも入場するなり、その世界観に驚き、スマートフォンやデジタルカメラなどで自撮りする方、撮影スポットで稼働させる方など十人十色とても満喫されていた様子です。

さあ、その後は待ちに待った日光江戸村です。江戸時代、古き良き建築物などがそのまま残っており、当時の江戸の町の雰囲気を感じることができると思います。忍者ショーや衣装の貸出、昔から伝わる伝統品(ユマなど)で遊べるスペースなど1日では回り切れないほど、楽しみがあふれ出て、利用者さんも全て回るのに必死な様子でした。ただ、その中でも忍者ショーや当時の衣装を着ての撮影などに利用者さんも釘付けとなり、参加して楽しむ方も多かったですように思います。

今回、宿泊訓練という行事の一環なのでテーマパークで遊ぶという所も一つの楽しみですが、きちんと団体行動がとれるかどうか、時間通りに集まる事ができるか、そういった基本的な事から社会勉強まで行程の中に取り入れて、行うことも目的としていました。今年度は利用者さんの集まりも迅速で、集合時間をきちんと守り、楽しく参加されている場面が多く見られました。その点でも今回の宿泊訓練は危なげなく終える事ができ、利用者さんも思い出の一つとして残るのではないのでしょうか。

忘年会

支援員 浅田 恵理子

昨年12月15日(土)ラウンドワンでのボウリング大会と東林バーベキューでの忘年会を行いました。

ボウリングは16時半開始と例年より早く、5チームに分かれ2ゲーム楽しみました。ストライクやゲーターを出し叫ぶ姿、自分の番が終わると他のレーンへ周り応援する姿、普段交流ない方とハイタッチする姿など見られ行事ならではの良い光景でした。

忘年会では皆そろって乾杯し思う存分食べて、飲んで、笑って過ごし、途中ボウリングの結果発表を挟み景品贈呈…と、平成最後の忘年会は良い思い出になったのではないかと思います。



身だしなみ講座

支援員 西岡 理智子

1月12日(土)身だしなみ講座を行いました。資生堂ジャパン社員の方に講師としてお越しいただき、初めての試みでしたが、参加された利用者の方の多くが満足され、とても充実した内容の講座となりました。

まず講義を受け、第一印象は3〜5秒で決まってしまうというお話や、笑顔の重要性、人は人の表情や変化を読み取るのが得意であるというお話から、表情の重要性をお話いただきました。

その後、男女に分かれて実習を受けました。男性は、初めて体験するフェイスパックに驚きの声を上げたり、髭剃りのやり方、ヘアセットのやり方を実践で教わっていました。女性は、化粧水、乳液の付け方から、ファンデーション、アイシャドウ、マスカラ、チークなど基本的な化粧の仕方を教わりました。

初めての講座でしたが、男性も女性も皆さん楽しみながら参加され、参加できてよかったとおっしゃっていました。今後の就労や生活で生かしていただければと思います。



調理実習

調理員 高橋 典子

10月14日(日)と12月8日(日)に調理実習を行いました。

10月の実習では、利用者さんのリクエストにお応えして「カボチャ」をメインにした献立「カボチャのシチュー・チキンライス・ひじきとツナのサラダ・カボチャマフィン」の4品を作りました。

自炊する時に役立つように、今回は便利な冷凍カボチャを使ったのですが、利用者さんからは「生のカボチャを切ったかな」という声も聞かれ調理へのこだわりや思い入れを感じさせられる場面もありました。

実習の回数を重ねる度に手際もよくなり、それぞれに担当した料理をてきぱきと作り上げていました。

12月の実習では、「寒い冬を乗り切るための料理」と題して、体を温めるキムチ鍋・チヂミ・チヨレギサラダ・金柑のセンガン茶(センガンとは韓国語で生姜のことです)を作りました。調理実習初参加の2名を含む、4名での賑やかな実習となりました。

みなさんが包丁をうまく使いこなしている姿にも感心したのですが、揚げの油抜きまで知識として持たれていたことにとっても驚かされました。

鍋の味付けは市販の鍋の素は使わず、計量カップやスプーンの使い方を覚えるために、手近な調味料で調合しました。調理の時の真剣なまなざしとほろっと変わって、鍋を囲んでの食事風景はとても和やかで、満足そうな表情がうかがえました。

調理実習の企画・実践に初めて携わったのですが、学生の時に体験した教育実習を思い出しながら、私自身も楽しく参加できました。

次回の調理実習は2月16日(土)を予定しています。土曜日に設定しましたので、日曜日では参加できなかった方も是非、この機会に参加されてみてく

ださい。



今後の主な予定

2月19日(火) オンブズマン活動

3月2日(土) 防災講座(横浜市市民防災センター)

3月3日(日) 精神科検診

3月10日(日) 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧いただけます。

(<http://tsurugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/tsukinryo/ryodayori/>)